

会議名	長浜市指定管理者選定委員会第2委員会 (令和5年度第4回会議)
日時	令和5年10月26日 12:58~16:35
審査対象	七尾まちづくりセンター

審査結果概要

- (i) 施設所管課（市民活躍課）からの募集経過説明
- (ii) 申請団体（七尾地区地域づくり協議会）による説明、プレゼンテーション
- (iii) 質疑応答
- (iv) 採点、集計
1,000点満点中：791点（100点満点中：79.1点）
- (v) 審査
指定管理者候補として適当と判断する者
所在地 長浜市佐野町181番地
名称 七尾地区地域づくり協議会
代表者 会長 角田 巖
選定にあたっての条件 特になし

質疑応答

- 委員 : たいへん意欲的で前向きな提案であった。職員採用計画では、積極的に献身的な人を採用するとのことであるが、後継者はどのように育成しているか。
- 申請者 : 60代の元気な方が中心になって頑張ってもらいたい。そのためにも、まずは若い世代に施設に来ていただくことが重要と考えている。また、今は地協だよりを世帯主に配布しているが、敷地内別居をしている若い世帯にもポストインすることで、情報提供し関係人口を増やしていきたい。
- 委員 : 地域づくり協議会としてこれまでから地域づくりに取り組まれてきたと思うが、今回、指定管理者としてまちづくりセンターの運営をするにあたり、特別な思いなどがあれば教えてほしい。
- 申請者 : 地域全体でまちづくりセンターを運営していくという意識を地域に浸透させたい。地域の拠点として地域の人々に利用され、協力もしてもらえるようにしたい。
- 委員 : 職員については、所長と事務員の常勤2名体制だが、シフトや休みの問題等はないか。
- 申請者 : フレックスタイム制やサポーターからの支援を活用しながら、休みもしっかり取り、常勤2名体制で運営したい。

- 委員 : 利用者数 5%増を目指すとしているが、3年間の収入予測が変わっていない。
- 申請者 : 初めての指定管理ということもあり、収入予測が不十分なことはご容赦いただきたい。適切に収入確保に努めたい。
- 委員 : 職員体制、事務員 2名との記載があるが、正しくは所長と事務員の各 1名か。
- 申請者 : 所長と事務員の各 1名が正しい。
- 委員 : 外部への情報発信として SNS の活用を今後検討することだが、現在、何か行っていることはあるか。
- 申請者 : 今はない。姉川合戦の地でもあるので、そうしたコアな部分に興味を持ってもらえるような情報を発信していきたい。
- 委員 : まちづくりセンターだよりを若い世代にもポストインしていこうという構想が素晴らしいと思った。
- 委員 : 指定管理者になると、財務関係はこれまでの収支の 10 倍規模になる。それに伴い会計処理や税務等の申告が大変になるが、指定管理料は公金が原資なので、しっかり確実に事務を行ってほしい。

審査

- 委員 : 今後の具体的な取組みとして、市役所の窓口代行を目指すとか、避難支援、買い物支援等にも幅広く取り組み、利用者を増やそうとされているのが印象的であった。
- 委員 : 60 代の人材育成を図るなど、具体的なターゲットを決めているのがよかった。
- 委員 : 意欲的で前向きな姿勢が好印象であった。初めての指定管理で戸惑うことはあると思うが、3年間で軌道に乗せられるよう市がサポートしてほしい。
- 委員 : 初めての指定管理なので、実際に施設運営する中で課題が出てくると思うが、それを次の取組につないでいってほしい。
- 委員 : 指定管理のビジョンが非常にまとまっている。これまでやってきたことを活かして指定管理もしていくとのことで、スタッフが充実していると感じた。これから若い人を取り込みながら、世代交代をスムーズに進めてほしい。初めての指定管理なので、市としても運営方法や予算管理、決算情報等を把握し、しっかりと指導してほしい。
- 委員長 : 七尾地区地域づくり協議会を七尾まちづくりセンターの指定管理者候補としてよろしいか。
- 全員 : 異議なし。